



豊能の風

発行：豊能町教育委員会 第111号 R6. 2. 22

小学校1年生 英語の学習

～保育所・幼稚園・こども園から小学校へのつながりをめざして～

豊能町と連携協定を締結している桃山学院教育大学 安井茂喜教授に小学校1年生での英語授業の様子を参観いただきました。現在の小学校1年生は、昨年度保育所・幼稚園・こども園で英語活動を体験した子どもたちです。授業後には、授業の改善のための助言等いただきました。

東能勢小学校では、体の部位の名称を学習をしました。自分の体の部位に触れながら英語で体の部位の名称の歌を楽しく歌っていました。その後、体の部位「head(頭)」「shoulders(肩)」「knees(膝)」などの名称を何度も口にするゲームを行いました。ALTと担任が連携し、どの子どもも楽しく参加できるように工夫された授業でした。



【体の部位の名称の学習】

吉川小学校では、「How are you?」「I'm happy. (うれしい)/ I'm hungry. (お腹が空いている)」など気持ちを表す表現「noodle(麺)」

「bread(パン)」、「curry and rice(カレーライス)」、「hamburger(ハンバーガー)」、「salad(サラダ)」などの食べ物の名称の学習をしました。

日本語にもなっている名称を英語らしく発音できるようALTと英語専科教員が丁寧に指導していました。



【食べ物の名称の学習】



子どもたちは、就学前には体を動かしながらジェスチャーを交えて昆虫の名称を何度も口にしたり、色が出てくる絵本を外国人講師に読んでもらったりして楽しく英語に触れてきました。小学校では英語の絵カードを使い、楽しくわかりやすい授業が行われていました。

今後は、より就学前と小学校とのつながりを意識した授業づくりの研究を進めていきます。

「ICT活用」～PETSで問題づくり～(東ときわ台小学校)

2月9日(金)に東ときわ台小学校でICTを活用した授業研究が行われました。実施された2年生の公開授業では、プログラミング学習用のロボット「PETS」(ペッツ)を使用し、プログラミング的な考え方を学びました。今回の授業のねらいは、「友だちの考えの良さを見つけ、互いに尊重し合いながら話し合う」と「PETSを使って、プログラミング的思考を学ぶ」ことでした。

「PETS」は、様々な命令(「右に向く」「前に進む」など)を示すブロックを背中に挿し込んで、指示された通りに動くロボットです。どのように指示したら、ゴールにたどり着くことができるのかについて、グループでアイデアを出し合い、命令の仕方を決めていきました。なかなか一つの方法に絞ることが難しい班もありましたが、じっくり話し合う時間を確保し、試行錯誤しながら、子どもたちは何度も何度も挑戦しました。時には先生も一緒に考え、「爆弾」を避け、ゴールの「お城」までたどり着いたときは、拍手と歓声がわきました。

最後に、タブレット端末を使用してPETSの動きを動画で撮影しました。動画撮影の仕方も、班のみんなで教え合いました。

幾多の困難を班のメンバーで乗り越えることができた時のほっこりとした子どもの笑顔が印象的でした。



【班のメンバーと話し合っています】



【PETSに指令を出し、動かしています】



【動画撮影を行っています】

わくわく・どきどきSDGsジュニアプロジェクト 令和5年度「SDGsジュニアフォーラム」銀賞受賞 ～東能勢小中学校8年生～

今年度より、大阪府教育庁は「実社会における課題の解決」に向けて、企業等の協力を得ながら探究的な学習に取り組む「わくわく・どきどきSDGsジュニアプロジェクト」を進めています。

この事業の一環として、2月10日(土)、「SDGsジュニアフォーラム」に東能勢中学校の生徒が出演し、見事、銀賞を受賞しました。おめでとうございます！

このフォーラムには出場を希望した大阪府下25校のうち、第一次選考を経て選ばれた中学校7校の代表生徒が参加し、「すべてのいのちが輝くアイデア」について発表しました。東能勢中学校の発表テーマは、「なくそうフードロス！使おうフードロス！～小さなことからコツコツと～」でした。

詳細は、後の「豊能の風」112号にて掲載予定です。当日の様子は、後日大阪府HPにて動画が公開されます。



【SDGsジュニアフォーラム会場】